



写真は市議会ホームページから（9日）

一般質問で、市民病院の早期建設、産後ケアと子どもの医療費無料化拡大、コロナ第5類引き下げに対する医療体制の継続と強化などを求めました。13日からは委員会審議が始まります。引き続き、要求を届けます。ご意見をお寄せください。



一般質問で切実な願いの実現を求めました

“子育て安心のまち”を進めることが求められています。市長自身も施政方針で「少子化対策は、もはや時間とのたたかい」と表明しました。野洲市の「子育て支援の充実」について質問しました。

問 健康推進課は、さまざまな支援に取り組んでいるが、加えて「伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金事業」が行われる。職員増員など体制の充実が必要である。

答 人員不足の感はある。新年度に向け増員を図りたい。保健師の採用を予定している。

問 産後ケア事業の「宿泊型」や「通所型」は利用者の要望にこたえるものでなくてはならない。医療機関（産婦人科）では出産が重なりたりすると受け入れができない場合があると聞く。安心してケアを受けられるために、また、利用者の選択肢を増やすためにも、委託事業所（病院、助産所）を増やすことが必要である。

答 希望者の要望に沿い、調整して

産後ケアの委託事業所を増やすこと。職員の増員。里帰り出産・多胎児、産後鬱への支援充実を

いるので、事業所からこれまで断わられたことはない。今後の検討課題としたい。

問 切迫した申請の認定の迅速化、里帰り出産、多胎児、産後うつについての支援の充実を。これらの支援について広く周知を。

答 市ホームページで周知している。緊急時は最短1日で認定している。母子手帳交付時を始め、妊婦に聞き取りなどして状況を把握している。

中学校卒業まで通院医療費の無料化を

問 子育て支援は経済支援とともに、子どもの社会性や人間形成と基礎学力など、社会に送り出すための支援である。これは行政の責任。財政の問題でなく、行政の姿勢の問題である。全国で95%の市区町村が実施している。野洲市でも実施すべき。

答 本来は国の責任であり要望している。財政のこともあり、今後、県の検討を注視する。

このままでは建設予定地の不十分な適地検証となり建設費増、病院経営と収支など懸念を抱えたままに

これまで総合体育館敷地での病院建設が適地なのか議論されてきました。市は「市の中央部であり最適地」と強調してきました。

しかし、電磁波や軟弱地盤。また、通院者の利便性、医師や医療関係者の通勤、モチベーションなど

は、リスクを否定できません。

医師の立場から提言を行う医師会との協議ができないまま、設計から建設まで一括発注することとは建設費の増加や、病院の経営と収支にリスク・懸念を抱えたままの推進であると指摘しました。

コロナ第5類引き下げ

市民が安心できる医療体制の継続を

政府が新型コロナウイルスをインフルエンザと同程度の第5類に引き下げることを決めました。インフルエンザより重症化や死亡率が高いと言われる中、引き下げに不安が広がっています。今後、検査や入院・治療が自己負担となれば、検査・診療をためらい、病状の悪化が予想されます。野洲病院で患者受け入れの継続や、高齢者施設の感染防止対策や職員の処遇改善を求めました。政府の病床確保の補助金などの削減方向について影響と対応など質問しました。

予算常任委員会、3常任委員会
13日から開催されます

- 13日(月) 予算常任委員会(総務分科会=当初予算の所管予算)、総務常任委員会
- 14日(火) 予算常任委員会(文教福祉分科会=当初予算の所管予算)、文教福祉常任委員会
- 15日(水) 予算常任委員会(環境経済建設分科会=当初予算の所管予算)、環境経済建設常任委員会

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2023年3月12日 No.473

市政・市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

- 小菅康子 比江 668-3 (電話・FAX) 589-4971
- 工藤義明 小篠原 879 (電話・FAX) 588-1856
- 野並享子 北野 1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
- 東郷正明 比江 864 (電話・FAX) 589-4158

日本共産党が見解を発表しましたのでお知らせします。

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索